

---

# 甘い言葉は似合わない

遠美 見

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

甘い言葉は似合わない

### 【Nコード】

N4122I

### 【作者名】

遠美 見

### 【あらすじ】

ロイエンタールとエルフリーデの最後の語らいがとんでもないことになり・・・。

新帝国暦2年12月16日 午後・・・

ロイエンタールは自身に迫る死を静かに待っていた。するとふいに扉が開き、誰かが入ってきた。

「すまんが邪魔をせんでくれないか・・・俺は死ぬのではなく死んで行く。その過程をけっこう楽しんでいるところだ。俺の最後の楽しみを妨げんでくれ・・・」

「久しぶりね・・・」

この声は・・・

「リヒテンラーデー族の生き残りか・・・」

「お前に管理人からの指令を伝えに来たのよ」

管理人って……あのクサレ物書きか？ 小説書くのやめたんじやなかったのか？

「そいつはご苦労なことだ……で、その指令とは？」

「この台本のセリフを言い合うこと、ですって。トリスタンとイゾルデっていう映画のラストシーンのセリフらしいけど」

「どれどれ……まずイゾルデのセリフからか……」

台本を読んだ二人はぐったりと倒れこんでしまった。ロイエンタールはやっとの思いで気を取り直し、叫んだ。

「オイ、クサレ物書き、出てこい！！ この俺にこんな恥かしいセリフを言わせようとはいい度胸だ」

「呼んだ？」

突然、ロイエンタールが座っている机の引き出しから、管理人が現れた。

「うわっ！！ 何でそんなところから？」

「こちらの世界ではけっこう有名な登場の仕方なんですけど・・・」

4

「・・・そんなことはどーでもいい。この企画はなんだ!！」

「ただ私はあなたたちに愛の言葉を交わして欲しいだけですが・・・」

「俺たちの間に愛なんか1ミクロンもない!! 勘違いするな!

」!

「子供まで作ったくせに!!・・・四の五の言わないではじめますよ。はい、まずエルちゃんから」

「いやあああ!!　こんなセリフ、言ったらジンマシンが出る!」

「薬なら用意してあるから平気です。3・2・1・はい!!」

「あ、あ、あなたのこと・・・い、いつまでもああ愛してる。あなたが、どこへ行って、何を見ようとも・・・わわわわたしたちは・・・いつも・・・一緒・・・よ」

言い終わったとたん、エルフリーデはバリバリと体中をかきむしりだした。しかし、息子を抱いているのでうまくかけないらしく「ちよっと、ゴメンツ」とロイエンタールのひざに息子を置いて背中をかきむしっていた。

ロイエンタールの腕はすでに動かすことはできなかつたので抱っこはできなかつたが、息子にっこり微笑みかけられたロイエンタールはつい微笑み返してしまい、またがっくりと机に突っ伏すこととなった。

やがてかゆみの治まったエルフリーデは急いで息子を取り戻すとロイエンタールに向かっていった。

「か、勘違いしないでよねっ！！ 仕方なく言っただけなんだから。ほんとはあなたなんてだいつ嫌いなんだからっ」

「そう願いたいものだな・・・しかしまだトリスタンのセリフが残っている・・・オイ、管理人・・・どうしても言わなければだめか？」

「アナタ漁色家なんですよ？このぐらいのセリフ、何百人かの女に言ったんじゃないの？」

「アホか！！ 本気で好きな女に向かってこんなセリフはけるか！！ 男はシャイなんだぞ！！」

「ほお・・・エルちゃんを本気で好きとな・・・録音するからもう一度・・・」

その言葉にロイエンタールがキレた。

「ベルゲングリユーン！！ このクサレ物書きを撃ち殺せーっ！！ いや、それでは気が済まぬ。俺がこの手で銃殺にしてくれるわ！！ 軍医を呼べ！！ 手術でも入院でも何でもやってやる！！ あの女をぶち殺すまでは死んでたまるか！！」

と、言うわけでロイエンタールは命をとりとめ、疑いも晴れ、親友のミッターマイヤーや、そのほかの提督たちとともに長く新帝国の建国に尽くすことになった。

エルフリーデともけんかをしながらも息子と3人仲良く暮らし、後にまた二人、子を設けた。

冷笑癖は相変わらずだが、穏やかに笑うことが多くなったということである……。

銀河の別の歴史が1ページ

E N D E

トリスタンのセリフ・・・「君は正しい・・・生か死か、どちらが正しいかわからないけど、愛は、何よりも強い」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4122i/>

---

甘い言葉は似合わない

2010年10月17日04時50分発行